

され、両市の政財界から200名余が集まった。5ロータリーを代表してあいさつに立った豊田西ロータリーの鈴木勇夫会長は、経済の不透明

感、国際情勢の緊張、自然災害などの不安が続いていることや、急速なデジタル化など社会変化のスピードに触れて、「こうした時代だからこそ地域社会のつながりや人と人との信頼、思いやりの心が一層大切になっていると感じます」と語り、今年度の国際ロータリーのテーマ「よいことのために手を取りあおう」を紹介して、5ロータリーの協力と連携による社会奉仕の取り組みを呼び掛けた。

豊田市長 「アジアパラ競技大会を子どもの学びの場に」

来賓あいさつに立った豊田市の太田稔彦市長は、今年9月～10月に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に触れて、「45の国と地域から1万5千人の選手が愛知にやってきます」と

「とりわけパラ競技大会は、子どもたちにとって学びの場になると思います」と話し、ロータリーのメンバーにも協力を呼び掛けた。豊田市でもサッカー、卓球、射撃、カヌー・カヤックのスラロームが開催される。



豊田5ロータリー
新年合同例会
200余人集う
豊田・みよし地区5
ロータリークラブ恒例の
新年合同例会が5日に名
鉄トヨタホテルで開催